

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】

【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



—「阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園」の愛称が決定—
『あつかし千年公園』

現在整備を進めている「阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園」は、多くの方に親しまれ、愛される施設となるよう愛称を募集したところ、町内はもちろん県内外から多数の応募をいただきました。この度、選考委員会による審査を経て、応募者数 121 名、応募総数 299 件の中から『あつかし千年公園』に愛称が決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

◆阿津賀志山防塁下二重堀地区歴史公園の愛称『あつかし千年公園』

◆名付け親 久保 大虎さん (国見町藤田)

◆愛称理由
1000 年以上の歴史がある国見町において、この公園を次の世代へとつないでいき、これから先 1000 年以上もみんなに愛される場所になってもらいたいとの思いと国見町から福島県へ、福島県から全国へ広まることを期待して名付けました。



オープンに向けて造成が進む『あつかし千年公園』

歴史まちインフォメーション

募集中 あつかし歴史館町民講座
菊池利雄先生の研究・資料を楽しく読む会
第 5 回講座「義経の足跡をたどる」

日時 1月20日(日)
午前 10 時～ 11 時 30 分
場所 あつかし歴史館
定員 15 名程度※電話予約制
(あつかし歴史館 ☎ 585-4520)
みなさんの参加をお待ちしています



みんなで楽しく国見の歴史を知ることができます

歴史講演会
「中世石母田の水田地名～石母田城と村地頭たち～」

国見町郷土史研究会主催の歴史講演会「中世石母田の水田地名～石母田城と村地頭たち～」が 12 月 6 日、観月台文化センターで行われ、約 30 名が参加しました。

講演会は郷土史研究会の笠松金次さんを講師に、石母田に関わる地名の成り立ちなどについて学びました。



石母田の地名の成り立ちを学ぶ参加者

国見の輝き人 ～国見町で活躍する人を紹介～
vol.13

内谷春日神社太々神楽保存会に所属する高橋直也さんにインタビューしました。高橋さんは楽人として春の祭礼やイベントなどで太々神楽を披露するほか子ども太々神楽教室で小学生に教えるなどの活動もしています。



高橋 直也 さん (小坂)



—昨年の祭礼で舞う高橋さん 子どもたちに指導する様子

—太々神楽に対する思い—
小学校 4 年生の学習発表がきっかけではじめてから今までずっと続けています。昔から受け継がれている伝統に自分もかかわることができて誇りに思っています。最近では舞に込められた意味を考えながら子どもたちに教えることで、さらに太々神楽の奥深さを感じています。

—今までの活動を振り返って—
今も同級生 2 人と一緒に保存会で活動していますが、春日神社の祭礼や町のイベントなどでは多くの方から温かい声をかけてもらっています。祭礼以外でも披露することで少しでも多くの人に伝統ある神楽を知ってもらいたいと思っています。
子ども太々神楽教室と一緒に踊りながら教えた小学生が自分一人で舞えるようになったときは自分のことのようにうれしくなります。

—今後の抱負を教えてください—
昨年は春の祭礼が中止になるなど披露する機会が少なかったですが、できるだけ多くの人に太々神楽のすばらしさを伝えていきたいです。また、ずっと受け継がれてきたこの伝統を次の世代へつないでいきたいです。

くにみ幼稚園 (年中組)

小さな天才たち

たかむら かける きくち ひなた すずき そうすけ

あべ げんとく いがしま たける かの ちえこ